

PUR:商品購買管理システム

- 商品の購買依頼・発注・仕入、付随費用の計上・配賦、加工の指示・計上、仕入報告、仕入データの債務転送、購買プロジェクト別原価計算を担当するのが購買管理モジュールです。
- 外貨対応していますので、輸入商社は必見のシステムです。
- SOE 販売管理、DRS 物流在庫、APS 債務管理、等と連動して、安心して効率的な業務システムを構築することができます。

主なメニュー

- 商品購買依頼
- 計画発注
- 発注伝票入力
- 発注伝票在庫予定日保守
- 注文書、部品支給指示書印刷
- 調達承認
- 特注手配
- 製作指示
- 輸入進捗管理、輸入手配、出庫指示書
- 仕入伝票入力
- 仕入状況照会、仕入報告書
- 加工指示、加工計上、加工状況照会
- 仕入付随費用入力、仕入付随費用状況照会
- 仕入付随費用実績配賦
- 仕入債務転送

ワークフロー対応の商品購買依頼

- 在庫品、役務、特注品を購買部門に対し購買依頼することができます。
- 依頼部署内での承認ワークフローを経て、購買部門は見積依頼を開始します。
- 複数業者を登録し見積依頼書を印刷します。
- 見積書を入手し、価格情報を登録します。
- 見積決定の為の承認ワークフローを経て、発注伝票を自動生成します。
- 商品購買依頼入力では自動発注品にも対応しています。

受注伝票に連動した特注品の発注

- 受注した商品を複数の仕入先に都度発注し調達する特注品の発注に対応しています。
- 営業部門が都度、構成品を入力することも、購買部門で構成品を入力することも、また、受注から

商品購買依頼ワークフローを起動させることも設定により可能です。

計画発注で注文書を自動生成しましょう

- 定番在庫品、手持ち在庫品、リピート品は、Plaza-iの計画発注機能を利用することにより、注文書を自動生成することが出来ます。
- こうした商品の適正在庫月数、仕入先、注文ロット数、最低注文数、発注単価等の基本データをマスターに登録しておくことにより、過去の販売実績から計算し、適正在庫月数を下回る商品について、Plaza-iが発注数量を提案します。
- 提案発注数量を必要に応じて変更し、「計画発注一覧表」として出力し、レビューを受け、確定したら、あとは計画発注番号を呼び出し、ボタンをクリックするだけ。複数仕入先に対し、複数通貨で、発注伝票を自動生成することが出来ます。
- これにより欠品を防ぎ、かつ、発注プロセスを合理化することができます。

輸入発注なら分納対応の Plaza-i

- 輸入は 1 回の発注で全品完納されないことも多いもの。Plaza-i の発注伝票は分納に完全対応しています。
- 輸入先が発行するオーダーコンファーム番号を入力し、分納発注予定を生成できます。
- 一方、多数の輸入を行っていれば、複数の注文が一つの船便に載ってくることもあります。取引条件によっては、輸入手配も自社で行う必要があります。
- このような場合、Plaza-i は複数の入庫予定を一つの輸入手配番号にまとめ、船積情報を登録することができます(輸入手配)。

前払対応の発注伝票

- 通常の納品後払いだけでなく、発注契約における前払取引に対応しています。
- APS 債務管理システムと連動し、前払支払時の前払金(前渡金)自動仕訳、仕入計上時の前払金との自動相殺仕訳、残額の買掛金の自動計上に対応しています。
- 邦貨だけでなく外貨も登録でき、外貨支払予定に対し、為替予約を引き当てることも可能です。

業態に応じた注文書を選択できます

- 都度仕入商品は、受注伝票の出庫先に直送指示することが可能な「外部仕入注文書」が最適。
- 協力工場等に大量に発注している場合は、発注日毎に複数の注文をまとめたフォーマットが便利です。
- 自社在庫品の支給指示であれば、部品支給指示書のフォーマットを選択。
- 定型的な輸入注文は外貨・英文対応した注文書フォーマットを利用しましょう。
- 輸入契約条件などをその都度指定したい場合は、ユーザが変更可能な Excel フォーマットに注文書出力することも出来ます。

製作指示という画面が用意されています

- 複数の都度仕入商品から構成される商品を調達する場合、多階層部品展開に対応した製作指示メニューが便利です。
- ショップに展示する商品を発注する、セミオーダー品をクレーム現品交換する、等のケースで利用される製作指示は、調達と納品の指示を行いますが、売上を計上しないところが受注伝票と異なるところです。

加工指示、加工計上が便利

- 在庫品を加工して、別の商品を製作する場合は、加工指示・加工計上が便利です。
- 複数の商品プラス加工賃を投入し、別の複数の商品を製作(産出)することができます(N対N)。
- つまり、複数種類の在庫商品を出庫し、加工賃仕入を計上し、新しい別の在庫商品を入庫する

ことが出来ます。

- 製作指示と異なり、多階層の展開や、自動発注はできませんが、複数種類の商品の生成は加工しかできませんし、都度、投入と産出の組み合わせを指定する OEM 加工品を販売する商社等の場合は、加工指示・加工計上が便利です。

輸入諸掛の配賦ができます

- 仕入付随費用入力という画面から、関税、保険料、乙仲料等の各種の輸入諸掛を入力することが出来ます(インボイスに直接付加される海上運賃等は仕入伝票入力で入力可能です)。
- こうして入力した輸入諸掛を、実際に商品を計上した複数の仕入伝票や入庫予定に関連づけ、金額、重量、数量等の比率を利用して、各在庫取引に付加することが出来ます(輸入諸掛実績配賦)。
- 在庫評価は、こうして配賦された輸入諸掛を含んだ金額で、適切な在庫評価方法、例えば、総平均法により計算することが出来ます。

仕入債務転送

- 計上された仕入伝票、加工計上伝票、仕入付随費用伝票は、購買部(調達部)による経理部に対する支払依頼として、Plaza-i 債務管理システム(APS)に転送することが出来ます。

輸入船積単位採算管理

- 購買プロジェクトオプションを採用すると、輸入船積単位(発注伝票の分納単位)で、仕入付随費用の予定配賦を行い、実際仕入付随費用額との原価差額を認識し、予定並びに実績の原価計算を行うことが出来ます。
- 輸入諸掛かりの予定については、各種パターンを登録可能。関税は商品別に関税率を登録したり、海上運賃は重量を基準としたり、通関料は FOB ベースの日本円を基準としたり、諸掛かりの項目別に算式を登録可能ですので、精度の高い予定原価計算を実施可能です。
- 船積単位で予定パターンがしっかり登録されていれば、乙仲から請求書を待たなくても、到着入庫の段階で輸入諸掛かりを配賦し、在庫金額が確定します。当然月次決算は非常に早くなり、乙仲からの請求書とのチェックも主体的に実行できます。
- Plaza-i は DRS 物流在庫管理システムと強力に結びつき、輸入ロットが入庫番号等に更に分かれても、どの船積の在庫の分か最後までフォローします。
- Plaza-i は原価差額を在庫と売上原価に配賦しますので、予定損益と実績損益を月次ベースで正しく管理することが出来ます。
- 為替予約システムと連動し、為替予約をインボイスに N 対 N で振り当てる事が可能です。実現為替差損益もインボイス単位で把握していますので、為替まで考慮した採算計算が可能です。外貨建

て債権債務並びに為替予約残高は、会計上は、原則法で時価評価し、業務上は、各船積単位に在庫に配賦することにより採算回収計算を行います。

- 財務会計の本則基準に則りつつも、業務上の要望にも照合可能な形で同時に応える Plaza-i ならではの機能です。